

三ノ塔尾根で丸太階段設置作業をしてきました

日付：令和6年7月27日（土）

天気：晴れのち曇り、雨

●三ノ塔尾根の標高 800 メートル周辺に洗堀され赤土露出の目立つ場所が確認されました。神奈川県公園指導員 15 名、パークレンジャー等 4 名の合計 19 名で、補修作業を実施してきました。

●6 月の巡視段階で深いところでは 50 センチを超える洗堀がありました。水を逃すことは難しいので水流を弱め、土壌流出を防ぐための丸太階段設置による対応を計画しました。暑さの厳しい中、戸川公園から牛首まで歩き、牛首から丸太、杭、かけや、土のうなどを歩荷し現場に向かいました。

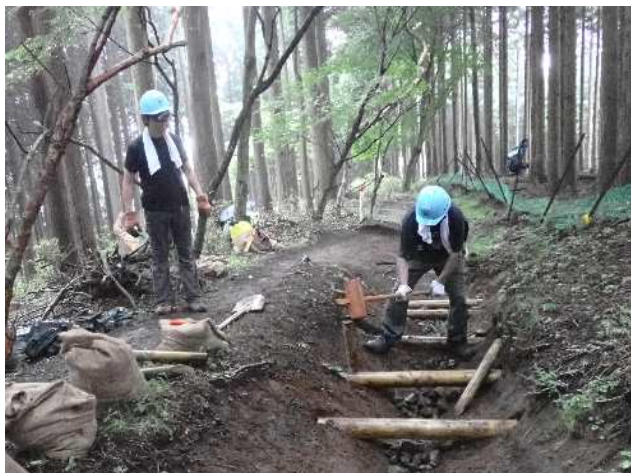


令和6年6月

●現場では3班に分かれ作業を開始しました。杭を打ち込み丸太を渡し、底の部分に石を積んで強度を高めました。上には土のうを置いていきます。



●かけや打ちを伴う作業なので、周囲の安全確認が大切です。石拾い、土のう作りも手分けして行いました。



●午後には降雨があり、早くも設置成果を想像させる状況となりました。豪雨時には集まった雨水が流れとなって土を洗っていくと思われ、丸太階段はその軽減に働きます。



●全 15 段の丸太階段を完成させました。下山してきた登山者の方に踏み初めをお願いしました。



●まだまだやり残した気持ちもありましたが、今後の補修継続を考えながら、日の差した雨の中をいったん撤収です。



作業開始時



作業終了時

●帰路の最後、激しい降雨に見舞われました。補修現場での仕事が役立っていることを期待しました。自然公園指導員の皆さま、暑い中、雨の中での作業ありがとうございました。

